

2022年11月28日

各位

三井住友信託銀行株式会社

サステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク策定支援および
サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について
(株式会社ライフコーポレーション)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、株式会社ライフコーポレーション(代表取締役社長執行役員:岩崎 高治、以下「ライフコーポレーション」)のサステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク(以下「本 SLL フレームワーク」)の策定支援を行うとともに、本 SLL フレームワークに基づくシンジケーション方式の「サステナビリティ・リンク・ローン」の融資契約を組成いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン(以下「SLL」)は、借り手の経営戦略に規定されているサステナビリティ目標と整合した「キー・パフォーマンス・インディケーター(以下「KPI」)」と「サステナビリティ・パフォーマンスターゲット(以下「SPTs」)」を設定し、貸付条件と SPTs に対する借り手のパフォーマンスとを連動させ、SPTs 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

ライフコーポレーションは今後も金融機関との間で継続的に SLL に取り組むことを想定し、本 SLL フレームワークを策定しました。本 SLL フレームワークは、同社が取り組む SLL に関する SPTs やローンストラクチャー、レポート等々の要件を統一的に定義したもので、今後同社が各金融機関との間で個別に SLL を取り組む際に汎用的に活用することができます。

本 SLL フレームワークは、株式会社日本格付研究所(代表取締役社長:高木 祥吉)より、ローン・マーケット・アソシエーション(以下「LMA」)(※1)等が定めた「サステナビリティ・リンク・ローン原則」への準拠性および設定した KPI と SPTs の合理性について第三者意見(※2)を取得しています。

当社では、SLL 等のサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs 達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指していきます。

<ライフコーポレーションについて>

ライフコーポレーションは、「『志の高い信頼の経営』を通じて持続可能で豊かな社会の実現に貢献する」という経営理念に基づき、ステークホルダーの皆様から信頼される企業として、地球環境とその上に成り立っている社会の課題解決に取り組んでいます。

「環境への負荷低減」を最重要課題の1つとして捉え、自社の事業活動が環境に与える影響が大きいと考えられる「CO2 排出」削減、「食品ロス」削減に取り組み、事業活動によって発生する環境負荷を低減し、循環型社会・脱炭素社会の実現を目指しています。

<KPI および SPTs の概要>

本 SLL フレームワークは、以下の KPI と SPTs を設定しています。

KPI		SPTs	SDGs
①	温室効果ガス (Scope1、2) 総排出量削減率 (2013 年度比)	温室効果ガス (Scope1、2) 排出量を 2025 年度に 90% (2013 年度比) まで削減、2028 年度に 75% (2013 年度比) まで削減、2030 年度に 50% (2013 年度比) まで削減	
②	売上高当たりの食品廃棄量削減率 (2017 年度比)	売上高当たりの食品廃棄量を 2025 年度に 55% (2017 年度比) まで削減、2028 年度に 51% (2017 年度比) まで削減、2030 年度に 49% (2017 年度比) まで削減	

(※1) ローン・マーケット・アソシエーション (LMA)

欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60 ヶ国以上に属する 700 以上の機関が加盟しています。

(※2) サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠性および設定した KPI と SPTs の合理性について第三者意見

株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以 上